

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 3月26日

公表: 令和 5年 3月 29日

事業所名 児童発達支援センターすまいるきつずR

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			療育体制の基準を満たしています
	2	職員の配置数は適切である	○			人員配置基準を満たしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			事業所内はバリアフリーです 安全性を確保した環境づくりを行っています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			児発管、直接処遇の職員は、基本全員参画しています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者評価表やアンケートの他、日頃から保護者様や相談支援事業所等と連携を行い、意向などの把握を行っています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所向け自己評価表ならびに保護者向け評価表をホームページにて公開しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	受審していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			対面形式の他、ZOOMを活用した研修に参加しています
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的にあセスメントを行い、多職種で分析した上で個別支援計画書を作成しています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたアセスメントツールを使用し、評価を行っています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎週、職員全員で意見交換を行いながら活動プログラムを立案しています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			週毎に内容を検討し、障害の特性や季節に応じた活動を実施しています

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			療育時間や子どもの特性、体調を考慮した活動内容を設定しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			障がいの特性や医療行為を考慮しながら、個別と集団活動を組み合わせて療育を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援開始前に主活動のシュミレーションや準備物の最終確認、その他誘導時間の確認などを行っています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	その日または、支援後数日以内に時間を確保し振り返りを行い、職員間で気付いた点等共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援目標に対する子どもの様子や手立て、更には体調面（バイタルや水分摂取、排泄）など詳しく記録に残しています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に一回モニタリングを基本に、変化が見られる時はその都度個別支援計画書の見直しを行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			自立支援、日常生活の充実の為の活動や創作活動、余暇の提供などに取り組んでいます
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児発管が参加し、各関係機関との情報共有や連携を図っています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			基本的には保護者様を通して情報共有を行っています。学校の都合による急な変更にも可能な限り柔軟に対応し、サポートしています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			アセスメント等の機会に、保護者様を通して主治医と連携を図っています。お子さんの状態によっては主治医より指示書をいただく場合もありました。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			担当者会議等に参加し、情報共有と相互理解に努めています。

関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			保護者様の同意を得たうえで情報提供などの協力を行いました
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			発達障がい者支援センターわっふるや、こども総合療育センターによる研修を受講しました
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			自立支援協議会の子ども部会に参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡ノートや送迎時の報告などを通して共通理解を図っています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			職員が知りえた研修の情報等を保護者にも伝え情報を共有しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や契約変更時に分かりやすい言葉で説明を行うよう心掛けています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時や電話の他、必要に応じて面談の場を設けて相談に応じています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			法人全体で苦情解決チームを発足しています 又、苦情に至る前に悩みや問題解決ができるよう普段から相談しやすい関係づくりに努めています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			連絡ノートにて活動内容やご様子を詳しくお伝えするようになっています 事前に個人情報取り扱いの同意をいただき、SNSで活動内容を発信しています
	35	個人情報に十分注意している	○			同意書をいただくと共に細心の注意を払っています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々に合った方法で配慮するようになっています

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			感染症の対策で控えていました 今後法人の動向に合わせて実施していきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			法人や事業所において各マニュアルを策定しています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			同建物内にあるたまきな荘と一緒に訓練を行っています。BCP(事業継続計画)も作成しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			法人内に委員会があり、同事業所職員も参画し、虐待防止に向けて調査や研修を行っています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			やむを得ない身体拘束が必要な場合は利用児や保護者様へ十分に説明を行い、個別支援計画書に記載して了承を得ています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	アセスメントの際聞き取りは行っていますが、当事業所から食事の提供は行っておらず、各自弁当をお持ちいただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			リスクマネジメント委員会管理の下、パソコン内に当法人の過去の事例が保存しており、いつでも観覧できるようになっています